

子どもの権利条約フォーラム2021 in かわさき 第2回準備委員会 報告

12月6日川崎子ども夢パーク・多目的ホールで「子どもの権利条約フォーラム2021 in かわさき 第2回準備委員会」が開催されました。会場参加は22名、オンライン参加は4名、合計26名での会議となりました。前回10月18日の第1回準備委員会の記録や11月14日、15日に富山県南砺市で行われた「子どもの権利条約フォーラム2020」に参加した方からの報告や感想をいただきながら、参加した皆様から意見をいただきました。2回目の主な意見をご紹介します。

- 来年もウィズコロナでの実施が予想されるが、富山と同じ状況にならないように工夫したい。
- テーマを2つくらいにする。1つは子どもに企画してもらい、子ども中心に。もう一つは大人側で、考えた企画ではどうか。
- 子どもの権利の日に合わせて、子ども参加、子どもの居場所、子どもの権利学習などの分科会を設けて。
- 川崎が20年やってきた実績をアピールすることも必要だ。
- 20年間で実現できたこと、やり残していることは何なのかを検証することは大切。南砺会場の子どもたちがシナリオなしで語ったことはとても良かった。川崎の子どもたちも自由に意見を言えるといい。
- 障がい者のブースがほしい。川崎市の障がい者の取り組みなども取り上げたい。
- 乳幼児は自分で意見を言えない。「親が思っているように育てるのが子育て」「小さな子どもが意見を持っていると思わなかった」という意見が毎回ある。出来れば乳幼児の分科会ブースを持ちたい。
- 困難を抱えている子どもが参加しやすい会になるといいと感じた。
- 子どもの運動能力が落ちているということがあるので、子どもが体を動かせる分科会もあっていい。
- 今日、シビックプライドなどの映像を見たが、「多様性」というのも川崎らしいと感じる。

第2回目の話し合いの中で、外国人の子どもたちやその支援に携わる方々の意見が反映されていないとの指摘もありました。川崎では、多様性という視点が欠かせません。様々な視点で活動する多様な皆様の参加を期待しています。よろしくお願いします。



12月12日の子どもの権利の日つどい講演会

12月12日多摩市民館で子どもの権利の日の集いが開催されました。今年はコロナ感染症の影響で、午前中に講演会、午後には多摩区地域教育会議主催する子ども会議が行われました。午前中の講演会は、子どもの権利フォーラムの代表の山田が「子どもの権利条約の20年を振り返り、理念を川崎の未来に引き継ぐために」というテーマで話し



ました。冒頭、桜井純恵さんとなかよしくらぶの皆さんが歌う「ちがいが豊かさとして響きあう」の歌の紹介から始まり、条例がつけられた経過、条例制定秘話、これからの子ども権利条約の課題などの話がありました。最後に、来年度の「子どもの権利条約フォーラム2021」の活動への参加の呼びかけがありました。

子どもの権利条約フォーラム2021 in かわさき 第3回 準備委員会のお知らせ

オンライン参加希望の方は、申し込み時にメールアドレスと携帯電話番号をご記入ください。

- 日時 2021年2月28日(日) 午後1時30分～4時
- 会場 川崎市子ども夢パーク 多目的ホール
- 申込 下記HPやメールなどから 2月20日までにお申し込みください。

かわさき子どもの権利フォーラム (Kfrc)

HP <http://kawasakifrc.ict-jig.com>

E-mail kawasakifrc@gmail.com

☎ 080-3471-6448